

発行
鹿沼警察署
南押原駐在所
75-2300

南押原駐在所だより



交通事故に注意しましょう！！

日没が早まるこれからの季節、薄暮時間帯に歩行者が車にはねられて亡くなる交通死亡事故が増加する傾向にあります。

10月以降は歩行者の死者数が増加し、特に薄暮時間帯の増加が顕著です。

ドライバーの皆さんはもちろん、歩行者や自転車を含めた全ての道路利用者が安全な行動を心がけて交通事故を防ぎましょう。

【歩行者が実践すること】

暗くなってから交通事故に遭わないために重要な点は、「目立つこと」です。

あなたから車は見えていても、ドライバーはあなたに気付いていないかもしれません。

「私はここにいるよ」と周囲に知らせる対策が大切です。

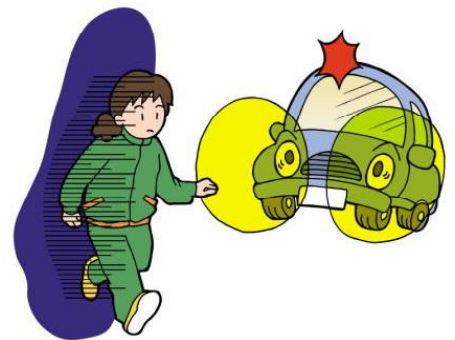
1 明るい色の服装

- ・白や黄色といった明るい色の服装を心掛けましょう。

2 反射材の利用

- ・反射テープを靴に貼る
- ・反射リストバンドや反射タスキを着用する
- ・反射素材が使われている衣類を着用する
- ・バッグ等に反射ストラップを付ける

などの手軽な方法で、交通事故を防ぐことができます。



【運転者が実践すること】

1 前照灯の早め点灯

○前照灯は、早めに点灯しましょう。

○前照灯を点けることで歩行者や自転車に車の接近を知らせる効果があります。

○ライト4（フォー）運動

- ・10月から翌年2月までの間は、

「16時だよ！全員点灯」

をキャッチフレーズに、午後4時に前照灯を点灯する取組みを展開中です。

- ・午後4時になったら前照灯を点灯し、交通事故を防ぎましょう。

2 夜間走行時の原則ハイビーム

～ 命を照らせ ～

○夜間は「原則ハイビーム」で走行し、歩行者や自転車を早めに発見しましょう。

○照射距離

- ・ロービーム（すれ違い用前照灯） 約40m
- ・ハイビーム（走行用前照灯） 約100m

○ハイビーム走行は、遠くから歩行者や自転車を発見できるとともに、逆に遠方から相手に自分の存在を知らせることもできます。

※ただし、前の車に続いて走っているときや対向車とすれ違うときは、ロービームに切り替えなければなりません。